



テストベンチ開発 (GP-IB通信による各種装置制御システムの開発)	
Testbench development	
産業技術学部・教授	稲葉 基

キーワード

テストベンチ、GP-IB、VB.NET、データ収集・解析システム

研究概要

IEEE 488.2準拠のGP-IB (General Purpose Interface Bus) 通信が可能なエレクトロメータ、ソースメータ、LCRメータ、デジタルマルチメータ、ファンクションジェネレータ、電源装置等を接続し、パソコンのVB.NET環境でデータ収集・解析プログラムを構築するテストベンチの開発研究です。



図1：開発例（光センサーのI-V特性とC-V特性を調べるテストベンチの開発研究）

応用例・用途

研究目的や用途に合わせて、様々なテストベンチが構築可能です。電流もしくは電圧モードの直流、交流、パルス信号の外、位相、インピーダンス、温度、圧力等を取り扱うことが可能です。例えば、温度を変えながら、光センサーのI-V特性やC-V特性を調べることができます。



国立大学法人 筑波技術大学 学術・研究委員会

【問い合わせ先】

〒305-8520 茨城県つくば市天久保4-3-15 大学戦略課 企画戦略係
TEL : 029-858-9339 FAX : 029-858-9312 E-MAIL : kenkyo@ad.tsukuba-tech.ac.jp